

保育園幼児指導要録

平成

年度 園名

ふりがな		性別	保護者名	生年月日	就学先
氏名				平成 年 月 日生	小学校

保育期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 年 ヶ月

領域	子どもの姿 (指導に関する記録は最終年度の記録です)	状況			備考	
		働きかけてもできない	働きかければできる	自分でできる	特記事項	
健康・人間関係・環境・言葉・表現	1 進んで戸外で遊ぶ					
	2 自分で排泄に行き、後始末をする					
	3 偏食をしないで食べる					
	4 自分で衣服を着たり、脱いだりする					
健康・人間関係・環境・言葉・表現	5 自分や友達の身体の異常に気付き知らせる				健康の状況	
	6 安全に気をつけて遊ぶ					
	7 友達と仲良く遊ぶ					
	8 決まりを守りながら、楽しく遊ぶ					
	9 自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりする					
	10 良い事悪い事を考えながら、行動する					
	11 共同の遊具や用具を大切に使う					
	12 身近な動植物に関心を持ち、大切に使う					出席の状況 保育日数 日 出席日数 日 理由
	13 物を大切に扱い、自分の持ち物を整頓する					
	14 簡単な和の範囲で者を数えたり、比べたり、順番を言ったりする					
	健康・人間関係・環境・言葉・表現	15 生活の中で、前後、左右、遠近などの位置の違いや、時刻、時間などに興味、関心を持つ				
16 あいさつや返事をする						
17 人の話を聞く						
18 相手に分かるように話しをする						
19 ひらがなで書かれた自分の名前が分かる						
20 絵本や物語などに親しみ想像をふくらませる						
21 感じたこと、想像したことを言葉や体、音楽、造形など自由な方法で表現して楽しむ						

施設長名		印	担当保育士名		印
------	--	---	--------	--	---

《5歳児用》【児童票兼保育要録】

ふりがな		性別		生年月日	平成 年 月 日生
氏名				保育期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (年 か月)
養護	1年間を振り返り、子どもの「生命の保持及び情緒の安定に関わる事項」(養護)について、子どもの発達過程や保育の環境に関する事項を踏まえて記載 例: ・アレルギー ・どういときに体調を崩すか? ・かかりやすい病気 ・不安定になるときの対応の仕方 など			就学先	
				保育所名及び所在地	(所在地) 〒 ー
				〈個人の重点〉	年間指導計画などからその子に合った内容を記入
				保育経過記録	
教 育	健康	・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。		1期	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【位置づけ】 5歳児児童票と保育要録を兼ねる育ちを支える資料 ・保育を振り返り、担任の発達援助の視点 ・小学校の生活や学びにつながる視点 </div> 記入内容 ・期でポイントにしていることを視点において記入(保育の中心的な課題とリンクする) 例: 1期 担任や仲間との関係 新しい環境をどう受け止めているか 2期 行事の取り組み など 3期 就学に向けての総評 ・その子の課題や問題がはっきりしている場合はそのことを中心に追っていくこともあり(気になる子や課題を持っている場合) 留意点 ・できる・できないの評価の列記にならない ・配慮をしたときには働きかけと共に子どもの視点で記入する(どうい働きかけをして、子どもがどうなったか) ・その子の良さや伸びようとしている点を伝える ・開示対象・個人情報保護の観点に留意
		・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。			
		・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。			
	人間関係	・生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。			
		・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。			
		・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。			
	環境	・身近な環境に親しみ、自然と触れ合い中で様々な事象に興味や関心を持つ。		2期	
		・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。			
		・身近な事物をみたり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。			
	言葉	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。		3期	
		・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。			
		・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心を通わせる。			
表現	・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。				
	・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。				
	・生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ。				
施設長名		印	担当保育士名		印

保育所児童保育要録

記入日： 年 月 日

ひらがな		性別		住所	
児童氏名		男		生年月日	年 月 日 生
		女			
就学先		保育期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (年 月)		
保育所名及び住所	(保育所名)	(保育所所在地) 〒 _____			
				電話 () _____	

子どもの育ちに関わる事項 (保育歴・成育歴・家庭の状況等)	子どもの健康状態等 ※特に留意すべき点があれば記載

項目	保育士等が行ってきた援助や関わりの視点	子どもの姿・保育士の援助等
養護	生命の保持 ・快適に生活できるようにする。 ・健康で安全に過ごせるようにする。 ・生理的要求が、十分に満たされるようにする。 ・健康増進が、積極的に図られるようにする。	
	情緒の安定 ・安定感を持って過ごせるようにする。 ・自分の気持ちを安心して表わすことができるようにする。 ・周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。 ・心身の疲れが癒されるようにする。	

項目	子どもの発達を捉える視点	子どもの姿・保育士の援助等
教育	健康 ・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。	
	人間関係 ・保育所生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	
	環境 ・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ・身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	
	言葉 ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士等や友達と心を通わせる。	
	表現 ・いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	

施設長名	印	担当保育士名	印
------	---	--------	---

※「養護」とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり
 ※「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達援助

(修正日) 年 月 日

平成 年度 保育所児童保育要録 記入日 平成 年 月 日

ふりがな		性別	就学先	
氏名		男女	生年月日	平成 年 月 日
保育園名及び住所	(保育園名)	(所在地)〒		
保育期間	平成 年 月 日 (歳児) ~ 平成 年 月 日 (年 か月)			
園児住所	〒			

子どもの養護(生命の保持及び情緒の安定)に関わる事項		子どもの健康状態等	
項目	ねらい(子どもを捉える視点)	子どもの育ちに関わる事項(保育園記載)	
健康	・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。		
	・ 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。		
	・ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。		
人間関係	・ 生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。		
	・ 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。		
	・ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。		
環境	・ 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。		
	・ 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。		
	・ 身近な物事を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。		
言葉	・ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。		
	・ 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。		
	・ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育者や友だちと心を通わせる。		
表現	・ いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。		
	・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。		
	・ 生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ。		

※保育園記載の中で、各項目の枠内に各記号を記載し、補足すべき事項があれば記載する。

◎できる、○おおむねできる、△子どもなりにできる、と記載をする。
主に最終年度(5,6歳)における子どもの心情・意欲・態度等について記載する。

※『子どもの養護(生命の保持及び情緒の安定)に関わる事項』は、子どもの発達過程や保育の環境に関する事項等を踏まえて記載すること。また、子どもの健康状態等について、特に留意する必要がある場合は記載する。

園長名		担当保育士名	
-----	--	--------	--

提出日 平成 年 月 日

子どもの最善の利益を踏まえ、個人情報として適切に取り扱うこと。

保育園(所) 児童保育要録 ①

フリガナ 児童氏名		性別	男 ・ 女
生年月日	平成 年 (西暦 年) 月 日 生		
現住所			
フリガナ 保護者氏名			

入園：平成 年 月 日 歳 か月	卒園：平成 年 月 日 歳 か月
最終年度 出欠席状況	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 要配慮 配慮事項：
就学先	

保育園名	
所在地	
園長氏名	
担任氏名	

項目	発達を捉える視点	発達の状況
健康	<p>食生活に必要な習慣や態度が身に付いている 注) 食べ物への感謝、食事中は席を離れ立ち歩かない、姿勢よく食べる、食具(箸・食器等)を正しく扱う、口の中に入っているときはしゃべらない等、食事に向かう気持ちと合わせて基本的な食事の態度が分かることとして捉える。</p>	
	<p>健康に必要な食べ物について関心をもっている 注) 健康に過すための食事の大切さが分かって、進んで食事をしたり苦手なものでも食べようとしていたりする姿などに着目する。</p>	
	<p>自分で食べる量を調整し、食事の内容や食べ方によりその目安となる時間内に食事をする</p>	
	<p>食事の後にすすんで歯磨きやうがいをする</p>	
	<p>適宜自分でトイレに行き、排泄する</p>	
	<p>トイレの使い方やマナーを守る 注) マナーとは、人の迷惑とならないように、次に使う人が気持ちよく使えるよう公共の物を使う意識を身に付けていくことに着目している。</p>	
	<p>睡眠 休息の大切さが分かり静かに身体を休める</p>	
	<p>着脱 一人で衣服の着脱をする</p>	
	<p>清潔 手洗い・うがいの意味が分かり、すすんでする</p>	
	<p>必要に応じて身体や衣服などを清潔にする</p>	
	<p>友だちと一緒に片付けや掃除をする</p>	
	<p>保健・安全 必要に応じて衣服調節をする</p>	
	<p>自分や友だちの身体の異常について知らせる 注) 子どもなりに、いつもとは体の調子が違うことに気付く点に着目する。</p>	
	<p>危険なことが分かり、安全に行動する</p>	
	<p>避難訓練の意味が分かり、指示に従い行動する</p>	
	<p>交通のきまりを守って安全に行動する 注) 道路の歩き方、横断の仕方、信号のルールなど基本的な交通ルールの理解に視点をおく。</p>	
<p>運動 生活に必要な手指操作をする 注) 手指操作とは、例えば、圖結び、ファスナー・ボタンのかけはずし、はさみの使用などを指す。</p>		
<p>運動用具を使い様々な身のこなし方が身に付いている 注) ふたつの活動をひとつにまとめあげる力がつき、動きが巧みになったり、身体をコントロールしたりする姿に着目する。</p>		
<p>身体を十分に動かし活動する</p>		
<p>水を怖がらずに、水の中で楽しんで遊ぶ</p>		
人間関係	<p>園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう</p>	
<p>身近な人と関わり、親しみをもったり気持ちを通わせたりする</p>		
<p>社会生活における望ましい習慣や態度を身につける 注) 考えながら行動したり友だちと協同して遊んだりする力に着目する。</p>		
環境	<p>身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもっている</p>	
<p>身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり考えたりし、それを生活に取り入れようとする</p>		
<p>身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに関心をもっている</p>		

児童氏名

言葉	自分の気持ちを言葉で表現する	○
	人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う	○
	日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育者や友だちと心を通わせる	○
表現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもっている	○
	感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ	○
	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ	○

(注) 発達の状況の欄は、保育園において児童に育てたいことが達成されていると判断される場合に「○」を記入する。
その際には、他の園児との比較によってとらえるものでないことに留意する。

項目	健康状態を捉える視点	
健康状態	<input type="checkbox"/> 良好である <input checked="" type="checkbox"/> 配慮を必要とする 配慮事項： 持病に喘息がある。季節の変わり目に発症しやすい。	
食の状態	喫食状況 (多 <input type="checkbox"/> ・普通 <input checked="" type="checkbox"/> ・少 <input type="checkbox"/>) 食物アレルギー (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無) 配慮事項： 卵アレルギーがあり、給食では卵を除去した食事を摂っている。	
身辺自立	基本的な生活習慣や態度は、(<input type="checkbox"/> 自立している ・ <input checked="" type="checkbox"/> 援助が必要) 配慮事項： 体調管理に配慮を要するため、衣服調節には大人の助言が必要である。	
情緒面	<input type="checkbox"/> 安定している <input checked="" type="checkbox"/> 配慮が必要である 配慮事項： 喘息発症への恐怖心を抱いており、不安を取り除くよう留意している。	

児童の育ちに関わる事項

健康面での配慮を優先してきたため、大事をとって欠席することも多く、5歳児クラスでの経験させたい活動を直接的に体験できないことも多かった。そのため、基本的な生活力はついてはいるものの、その力を集団の中で発揮しきれずにいる。自身への信頼感が積み上がるよう期を捉えて手応えを自信につなげてきた。

指導上参考になる事項

体調の変化には特に留意してきた。また、喘息を発症しやすい季節の変わり目には、本児も発症に対する恐怖心が高まるので、精神的な負担を取り除くよう、保育者も衣服調整への助言や体調の変化に対する迅速な対応を行い、見守られている安心感がもてるように配慮してきた。

長期欠席の期間には、クラス通信を作成するなど、クラスの一員としての居場所を見失わないよう、クラス集団としての連帯に配慮し、本児が体調回復後に登園しやすい環境づくりを行ってきた。

※ 子どもの育ちを支えるための文書作成です。上記の記入例は、敢えて記入例を記述するように作成していますので、標準的な例とは異なります。

保育所児童保育要録

ふりがな		就学先	小学校	
氏名		保護者	氏名	続柄 ()
生年月日	性別		住所	〒 -
平成 年 月 日生	男・女			

【保育所(園)名】	【所在地】 〒 -	TEL -
-----------	-----------	-------

保育期間	年 月 日 (自園通算)
------	--------------

子どもの育ちに関わる事項

(家庭環境その他特記すべき事項等)	入所(園)前の状況

養護	生命の保持及び情緒の安定に関わる事項	出席日数	子どもの健康状態等
		日	

教育(発達援助)に関わる事項

項目	ねらい	発達の状況及び指導上参考となる事項
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ・ 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ・ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 	
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・ 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ・ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。 	
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ・ 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ・ 身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。 	
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ・ 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ・ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士等や友達と心を通わせる。 	
表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 	

施設長名	印	担当保育士名	印
------	---	--------	---

保 育 所 児 童 保 育 要 録

ふりがな		性別	就学先	小学校
氏名			生年月日	平成 年 月 日生
保育所名 及び所在地	(保育所名)	(所在地) 〒	電話	0952- -
保育期間	平成 年 月 日 (歳 ヶ月) ~ 平成 年 月 日			
養護 (生命の保持及び情緒の安定) に関わる事項			(子どもの健康状態等)	
項目	教育 (発達援助) に関わる事項			
健康	・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。			
	・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。			
	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。			
人間関係	・生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。			
	・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。			
	・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。			
環境	・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。			
	・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。			
	・身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。			
言葉	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。			
	・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。			
	・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心を通わせる。			
表現	・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。			
	・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。			
	・生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ。			
これまでの「育ちに関わる特記事項」 (育ちの経過等)				
施設長名	印	担当保育士	印	

※ 「養護 (生命の保持及び情緒の安定) に関わる事項」は、今の段階での子どもの生命の保持及び情緒の安定に関わる事項について記載すること。また、子どもの健康状態等について、これから、特に留意する必要がある場合は記載すること。

※ 「教育に関わる事項」は、5領域のねらい、保育士の発達援助の視点等を踏まえた上で、主に最終年度 (5, 6歳児) における子どもの心情・意欲・態度等について記載すること。

※ 「育ちに関わる特記事項」は子どもの育ちの過程を踏まえ、今後の指導に配慮した方がいいことを書く。

※ 子どもの最善の利益を踏まえ、個人情報保護法に留意し、適切に取り扱うこと。

保育所児童保育要録(案)

ふりがな		性別	就学先	小学校
氏名			生年月日	平成 年 月 日
保育所名 及び 所在地	(保育所名)	(所在地)	〒 -	
保育期間	平成 年 月 日 ~ 年 月 日 (年 か月) ()			
	平成 年 月 日 ~ 年 月 日 (年 か月) ()			

養護(生命の保持及び情緒の安定)に関わる事項	(子どもの健康状態など)
※子どもの発達過程や保育の環境に関する事項等を踏まえて記載する ※生命保持 ●どんなとき体調を崩しやすいか ●排泄等の特長 ●持病の有無等 ※情緒安定 ●どんなとき不安定になりやすいか、その回避の方法	※子どもの健康状態について、特に留意する必要がある場合は記載する 留意点…子どもの最善の利益を踏まえ、個人情報保護に留意し、適切に取り扱う。

教育(発達援助)に関わる事項			
	項 目	状 況	特 記 事 項
健 康	身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする		※特記事項の欄 子どもの保育を振り返り、保育士の発達援助の視点等を踏まえた上で、主に最終年度(5, 6歳)における子どもの心情・意欲・態度等について記載する。 書き方については(よりは) ●現状の記載 → 園や保育士はどう取り組んできたか ●小学校への要望 → 園での対応や支援の方法 ●配慮してほしい → どんな配慮が必要なのか具体的な配慮事項 ●苦手なこと → 克服しようと努力する様子 など記入
	保育士や友達とふれあい、安定感を持って生活する		
	健康な生活のリズムを身につける		
人 間 関 係	友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする		
	自分でできることは自分でする		
	良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する		
環 境	身近な動植物に親しみをもち、いたわり、大切にし、育てるなどして、生命の尊さに気づく		
	身近な物を大切にする		
	安心できる人的及び物的環境のもとで、聞く、見る、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする		
言 葉	したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする		
	人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す		
	親しみをもって日常の挨拶をする		
表 現	保育士と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて身体を動かしたりして遊ぶ		
	感じたこと、考えたことを音や動きなどで表現したり、自由に書いたり、作ったりする		
	生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気づいたり、親しんだりする		

施設長名		印	担当保育氏名		印
------	--	---	--------	--	---

保育所児童保育要録

ふりがな		性別	生年月日
氏名			平成 年 月 日
保育所名 及び住所	(保育所名)	(住所) 〒	—
保育期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日(年 か月)		
子どもの育ちに関わる特記事項			
乳児期 (0歳~2歳)			
幼児期 (3歳~6歳)			
項目	発達を捉える視点	指導上参考となる事項	
健康	・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。		
	・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。		
	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。		
人間関係	・生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。		
	・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。		
	・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。		
環境	・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。		
	・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れたりする。		
	・身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。		
言葉	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。		
	・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。		
	・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心を通わせる。		
表現	・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。		
	・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。		
	・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。		
施設長名	印	担当保育士	印

※ 「子どもの育ちに関わる特記事項」は子どもの育ってきた過程を踏まえ、その全体像を捉えて総合的に記載すること。

※ 子どもの最善の利益を踏まえ、個人情報保護に留意し、適切に取り扱うこと。

保育所児童保育要録

フリガナ		性別	就学先	小学校
園児氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日生
保育所名 及び所在地	保育園	(住所)		電話番号
保育期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (年 か月)			
子供の育ちに関わる事項				
養護(生命保持及び情緒の安定)に関わる事項				
生活習慣 (身辺、排泄 等)				
食 事				
その他				兄弟 関係
項目	教育(発達援助)に関わる事項	発達の 状況	特 記 事 項	
健 康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。			
	自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。			
	健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。			
人 間 関 係	保育園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう			
	身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。			
	社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。			
環 境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。			
	身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活 に取り入れようとする。			
	身近な事象を見たり考えたり扱ったりする中で、ものの性質や数、量、文字などに対する感覚を豊かにする。			
言 葉	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。			
	人の言葉や話などを良く聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。			
	日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心を通わせる。			
表 現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。			
	感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。			
	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。			
施設長氏名	(印)	担任保育士氏名	(印)	
主任保育士氏名	(印)	担任保育士氏名	(印)	

※「発達の状況」は、「発達過程」に沿って一人ひとりの子供に当てはめ発達が見られた項目に○を付けること。

記入の際には、子供の発達をクラスやグループ単位で標準的・平均的に捉えないよう留意すること。

保育所児童保育要録

ふりがな		性別		就学先	小学校
氏名				生年月日	平成 年 月 日生
保育園名及び住所	(保育園名)	(住所)	〒	-	
保育期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (年 カ月)				
年齢	子どもの育ちに関わる事項及び養護(生命の保持及び情緒の安定)に関わる事項			子どもの健康状態	
0歳児					
1歳児					
2歳児					
3歳児					
4歳児					
5歳児					
項目	発達援助の視点・ねらい			教育(発達援助)に関わる事項	
健康	・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。				
	・ 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。				
	・ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。				
人間関係	・ 生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。				
	・ 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。				
	・ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。				
環境	・ 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。				
	・ 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。				
	・ 身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。				
言葉	・ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。				
	・ 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。				
	・ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心を通わせる。				
表現	・ いろいろなものの美しさなどに対する豊かな表現を持つ。				
	・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。				
	・ 生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ。				
園長名		印	担当保育士名		印

保育園幼児要録

(学籍等に関する記録) ①

区分	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
学級							
整理番号							

認定こども園名及び所在地				
年度及び入園(転入園)・進級の幼児の年齢	平成	年度	平成	年度
	歳	か月	歳	か月
園氏名				
長印				
学級担任氏名、印				

幼児	ふりがな氏名	平成			性別	
		年	月	日生		
保護者	ふりがな氏名					
		現住所				
入園	ふりがな氏名	平成	年	月	日	入園前の状況
		平成	年	月	日	
転退園	現住所	平成	年	月	日	進学
修了	現住所	平成	年	月	日	先等
幼稚園に在籍した期間	現住所	平成	年	月	日	～平成
			年	月	日	

保育園幼児要録

(指導及び保育に関する記録)

②

氏名	平成 年 月 日 生	性別	発達の状況			年度	平成 年度	年度	平成 年度	年度
			平成	年度	年度					
ねらい(発達を捉える視点)										
健康	・明るく伸びと行動し、充実感を味わう。									
	・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。									
人間関係	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。									
	・園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。									
環境	・身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。									
	・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。									
言語	・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。									
	・身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。									
表現	・身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。									
	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。									
出欠の状況	・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。									
	・日常生活に必要な言葉がわかるようになることにも、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる。									
備考	・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。									
	・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。									
生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。										
教育日数										
出席日数										
健康状態										
子どもの育ちに関わる事項										
指導の重点等										
指導上参考となる事項										
養護に関わる事項										

保育所児童保育要録

A 基本情報	ふりがな		性別	就学先*	
	児童氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日生
	保育所名及び所在地		(所在地) 〒 -		
	保育期間*	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日			
B 保育の経過	年齢	0歳児		1歳児	
	年度	平成 年度		平成 年度	
	園長氏名	印		印	
	担任氏名	印		印	
	援助に関する特記事項				
	年齢	2歳児		3歳児	
	年度	平成 年度		平成 年度	
	園長氏名	印		印	
	担任氏名	印		印	
	援助に関する特記事項				
	年齢	4歳児		5歳児	
	年度	平成 年度		平成 年度	
	園長氏名	印		印	
	担任氏名	印		印	
援助に関する特記事項					
C. 子どもの育ちに関わる事項					
D. 子どもの健康状態等					

※ 就学先及び保育期間は最終年度時の送付前に記入すること。

保育所児童保育要録

ふりがな		性別	就学先	
氏名			生年月日	平成 年 月 日生
保育所名 及び住所	(保育所名)	(住所)	〒 ー	
保育期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (年 ヶ月)			
子どもの健康状態等			指導の重点等	
(個人の重点)				
ねらい (発達を捉える視点)			発達の状況 平成 年度	子どもの教育・養護(生命の保持及び 情緒の安定)に関わる事項
健 康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。			
	自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。			
	健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。			
人 間 関 係	生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。			
	身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。			
	社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。			
環 境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。			
	身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたり、それを生活に取り入れようとする。			
	身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。			
言 葉	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。			
	人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話、伝え合う喜びを味わう。			
	日常生活に必要な言葉がわかるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心通わせる。			
表 現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな表現を持つ。			
	感じたことや考えたことを自分なりに表現して遊ぶ。			
	背勝の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ。			
施設長名	(印)		担当保育士名	(印)

※発達の状況の欄は、学年の初めと比較して著しい発達が見られたものには○印を記入すること。その際には、発達の状況は、他の幼児との比較や一定の基準に対する達成度についての評定によって捉えるものではないことに留意すること。

保育所児童保育要録

ふりがな 児童名	平成 年 月 日生		就学先		子どもの健康状態等
			男	女	
保育所名					子どもの育ちに関わる事項及び指導上参考となる事項
所在地					
保育期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (年 月 日)				子どもの育ちに関わる事項
教育に関わる事項					
ねらい					担当者 保育士
健康	<p>明るくのびのびと行動し、充実感を味わう。</p> <p>自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。</p> <p>健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。</p>				
人間関係	<p>生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。</p> <p>身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。</p> <p>社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</p>				
環境	<p>身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。</p> <p>身近な環境に自分から関わり、発見を素んだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。</p> <p>身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。</p>				
言葉	<p>自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。</p> <p>人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。</p> <p>日常生活に必要な言葉が分かるようになることと、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心を通わせる。</p>				
表現	<p>いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。</p> <p>感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。</p> <p>生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ。</p>				
					平成 年度
					平成 年度
					平成 年度
					施設長名
					印